



4……………アルフィット(魚住町金ヶ崎)

「足が痛いけど、ローファ
ーにはインソール(中敷き)
が入れられないから、我慢し
てるんです」。若い学生の悩
みを解決しようと、医療用整
形靴「Cherry bio
ssoms」は誕生した。

開発したのは、義肢装具製
作所「アルフィット」。代表
取締役の藤原誠文さん(48)
は、幼いころから足に装具を
着けている妻の悩みを聞く
うち、「痛みや違和感をなん
とわけてあげたい」と、義肢装
具など改善がみられ、一緒に

義肢装具製作



義肢装具の作業場。すべての装具を一つずつ手作りしている

喜べるのがやがてと語る。
外反母趾や扁平足など、足
に痛みや変形を伴う中高生に
医療用の中敷きを作ることも
多いが、スニーカーには入れ
られても、学校指定のローフ
アーでは使えなくて困ってい
る子が何人もいた。「対応す
る靴がないなら作る」。2
年前に国の補助金を受け、神
戸市長田区の靴工場と協力、
オリジナルの木型の開発に尽
力した。木型から靴を作り、
試し履きしてもらって改良を

学生向けの医療用整形靴を前に、開発した
思いを語る藤原誠文さん=いずれも魚住町
金ヶ崎



NEXTに
動画

×7

義肢装具製作所。2008年設立

従業員10人。オーダーメイド装具のほか、コル
セット、インソール(中敷き)などのオリジナ
ル製品「らくらくシリーズ」も開発し販売。学

生向けの医療用整形靴「Cherry bio
ssoms」は1方45800円から。足の相談

会も実施している。07-8-9936・224

8

医療のノウハウで学生靴

重ね、1年がかりで完成した。
自分に合う中敷きが入るだ
けでなく、側面にも硬い芯を
入れてかかとをしっかり包
み、最近の子どもにも多い薄
くて細長い足に合うよう入り口
を狭くした。医療のノウハウ
を取り入れ、素材から製造工
程までこだわった「正しい歩
き方や筋肉の使い方を促し、
スニーカーのような機能を備
えている」という自信作だ。

1年前に発売、整形外科や
同業者を通して注文が寄せら
れている。予防したり、痛み
が和らいだりするだけでなく、
足の状態が次第に良くな
っている人もいるという。「制
服だけでなく、靴のために足
も測った方がいい」と提案し
たところ、私立中学、高校か
ら採寸会の依頼もあった。

足に悩みを抱える子どもが
増えていると感じており、藤
原さんは「幼い間に足の使い
方、靴の選び方を知る『足育』
が必要だ」と考えるようにも
なった。「この靴を履いても
らうだけでなく、美しく楽に
歩いて健康的な毎日を過ごせ
るよう、知識も伝えていきま
い」と思い描いている。

(金山成美)